

歯を磨けば命が輝く 〜歯原性菌血症の怖い話〜



花田 信弘（はなだ のぶひろ）

福岡県出身 歯学博士

鶴見大学 歯学部 探索歯学講座 主任教授

国立感染症研究所 口腔科学部長を経て現職。

全国各地の大学歯学部の講師を務める。

第3話 血管が老いるとどうなるのでしょうか

第三話では血管が老いるとどうなるのかをお話し致します。人間の血管は想像以上にたくさんあります。一人の人間の全部の血管を比べるとテニスコート6面分あるそうです。全部つなげると地球を2周半すると言われています。

人間の臓器の事を五臓六腑と言います。血管のない臓器はありません。血管が老化すると五臓六腑も老化するのです。歯を磨かないことによるお口の汚さだけでなく、動脈硬化や高血圧、腎臓、肝臓の病気、脳の病気、心臓の病気、関節の病気などの発症や進行に関係します。昨年、シヨックキングな医学データがイギリスで発表されました。従来イギリスでは菌血症による心内膜炎を予防するため必要に応じて歯科



血管はテニスコート6面分の広さがあります。

医師が抗菌薬の処方をしてきましたが、2008年改定のガイドラインで、歯科医師の抗菌薬の処方を推奨しなくなりました。ところが、その直後から現在までイギリス全土で心内膜炎による死者が増加したのです(ランセット2014年)。お口の中は毒であふれています。この毒を甘く見ると生死に関わる重篤な結果をもたらします。

むし菌は歯の穴から歯周病菌は歯ぐきのまわりから血液中に入ります。血液の中に入ると互いに共謀して血管炎を引き起こして血管を老化させます。血管が老化するとやがて多くの臓器は生活習慣病になります。おなかの細菌の場合は菌血症を起こしても肝臓で分解されますから、肝臓以外の臓器には到達しません。これに対して、お口の細菌が引き起こす菌血症は肝臓で分解される前に脳や心臓を含む多くの臓器に到達します。だから、口の中の細菌や細菌由来の毒素が生活習慣病を引き起こすのです。歯を磨けば命が輝くのは本当だということが科学的に明らかになってきました。



鶴見大学歯学部探索歯学講座

〒230-8501 神奈川県横浜市鶴見区鶴見2-1-3

TEL.045-581-1001

<http://dent.tsurumi-u.ac.jp/>



一般社団法人 口腔除菌協会

東京都港区六本木7-17-10

TEL.0120-59-6480

<http://www.kenko-station.jp>